

(2) 社会

ア 個々の問題の概要及びその通過率

—評価の観点—			
思・判・表	：	社会的な思考・判断・表現	
技能	：	資料活用の技能	
知・理	：	社会的事象についての知識・理解	

(◇：「活用」に関する問題)

学習指導要領の内容	問題番号	出題のねらい	活用	評価の観点	A設定通過率(%)	B通過率(%)	AとBの比較			
3・4学年	(3)アイ	1	(1)	①	2つのグラフから人口の増加に反するごみの量の減少傾向を読み取ることができる。		技能	80	94	↑
				②	リサイクルマークやリサイクルの意味を理解している。		知・理	70	87	↑
				③	缶や瓶、空のペットボトルが資源物であることを理解している。		知・理	60	78	↑
		(2)			エコバッグの利用がごみを減らすことになる理由を説明することができる。	◇	思・判・表	40	75	↑
	(4)ア	2	(1)	①	写真から安全な町づくりのための地域の取り組みについて指摘することができる。		技能	80	98	↑
				②	写真から安全な町づくりのための地域の取り組みについて指摘することができる。		技能	80	99	↑
				(2)	写真や地図などから読み取れる危険を適切に表現することができる。	◇	思・判・表	60	68	↑
	(1)ア	3	(1)	ア	カードに書かれた文から地図を読み取り、指定された場所の地図記号を指摘することができる。	◇	知・理	60	63	—
				イ	カードに書かれた文から地図を読み取り、指定された場所の地図記号を指摘することができる。	◇	知・理	60	36	↓
			(2)	①	地図記号のある方角を指摘することができる。		技能	80	72	↓
				②	駅の周りに公共施設が建っていることを指摘することができる。		技能	80	88	↑
			(3)		条件を使って、最も一番近い道順を説明することができる。	◇	思・判・表	50	49	—
(5)ウ	4	(1)		複数の資料から、芦ノ湖の周りの地形について指摘することができる。	◇	技能	60	71	↑	
			ア		カードに書かれた内容が、どの資料から読み取った情報を関連付けてまとめたものであるか指摘することができる。	◇	思・判・表	60	41	↓
				イ	カードに書かれた内容が、どの資料から読み取った情報を関連付けてまとめたものであるか指摘することができる。	◇	思・判・表	60	66	↑
		(2)	ウ	カードに書かれた内容が、どの資料から読み取った情報を関連付けてまとめたものであるか指摘することができる。	◇	思・判・表	50	59	↑	
			(1)		等高線を基に土地のおよその高さを読み取り、3地点の中から最も高い場所を指摘することができる。		技能	60	66	↑
				(2)		土地の傾きの緩急を判断するには、等高線の間隔に着目するとよいことを説明することができる。	◇	思・判・表	50	44
(6)イ	6	(3)		条件に該当する断面図を指摘することができる。	◇	技能	50	74	↑	
		(1)		平野や盆地、台地などの平らな土地のことを平地と呼称することを理解している。		知・理	60	51	↓	
			(2)		2つの資料を用いて適切な河川名を指摘することができる。	◇	思・判・表	60	48	↓
(6)イ	6	(3)		文章の条件に該当する市を2つの資料から読み取り、その名称をそれぞれ指摘することができる。	◇	技能	50	54	—	
		(1)イ	7	(1)	日本の気候区分の特徴を基に、それぞれの雨温図に適合する都市名を指摘することができる。	◇	思・判・表	40	53	↑
(2)				日本海側の冬の気候の特色について、資料を基に説明することができる。	◇	思・判・表	40	59	↑	
(2)イ	8	(1)	①	グラフから米の生産額を読み取ることができる。		技能	70	85	↑	
			②	グラフから過去の米の生産額が何倍かを読み取ることができる。		技能	50	50	—	
			③	グラフから米の生産額より野菜の生産額が多くなった年を読み取ることができる。		技能	60	62	—	
		(2)		宮崎県が冬でも温暖な気候を生かして野菜を生産していることを指摘することができる。	◇	思・判・表	50	65	↑	
		(1)ア	9	(1)		オーストラリア大陸と日本の関係を、日本との位置関係を踏まえて指摘することができる。		技能	60	64
(2)				世界地図上で大西洋の名称と位置を指摘することができる。		知・理	60	67	↑	

A設定通過率とB通過率を比較する際は、下記により判断する。

+5ポイントより上の場合：「↑」 ±5ポイントの範囲内：「—」 -5ポイントより下の場合：「↓」

評価の観点	思・判・表	技能	知・理
A設定通過率	51	66	62
B通過率	57	75	64

イ 個々の問題の教育事務所管内・地区別通過率

問題番号	問題の内容		設定 通過率	東青管内		西北管内					
				青森市	東郡	五所川原市	つがる市	西・北郡			
1	(1)	①	2つのグラフの増減傾向の読み取り	80	94	94	92	93	94	96	91
		②	リサイクルとマークの意味の理解	70	87	87	84	86	87	87	85
		③	資源物の理解	60	75	75	72	74	70	81	74
	(2)		エコバッグ利用とごみ減少の説明	40	81	82	80	73	76	77	69
2	(1)	①	地域の安全に向けた取り組みの指摘	80	98	98	97	98	98	98	99
		②	地域の安全に向けた取り組みの指摘	80	98	98	98	99	99	100	99
	(2)		資料における危険の指摘	60	69	68	78	70	73	70	67
3	(1)	ア	条件に該当する地図記号の指摘	60	62	62	56	64	69	65	59
		イ	条件に該当する地図記号の指摘	60	36	36	26	39	42	41	35
	(2)	①	条件に該当する方角の指摘	80	71	71	67	70	70	69	70
		②	条件に該当する方角の指摘	80	88	88	90	88	89	85	88
	(3)		条件を用いての道順の説明	50	50	49	52	46	55	40	39
4	(1)		複数の資料に基づく地形の指摘	60	72	72	61	70	72	65	70
	(2)	ア	活用した資料の指摘	60	42	42	40	39	43	34	36
		イ	活用した資料の指摘	60	69	69	63	66	74	60	61
		ウ	活用した資料の指摘	50	60	61	49	60	62	59	57
5	(1)		等高線に基づく最高地点の指摘	60	69	69	64	65	67	61	65
	(2)		土地の傾きの緩急の判断材料の指摘	50	44	45	44	46	53	48	38
	(3)		条件に該当する断面図の指摘	50	73	74	67	78	78	77	78
6	(1)		平らな土地の名称の理解	60	52	53	44	52	56	62	41
	(2)		条件に該当する河川名の指摘	60	46	46	55	60	66	62	54
	(3)		条件に該当する市の指摘	50	55	56	45	56	60	50	55
7	(1)		雨温図に適合する都市の指摘	40	53	54	44	52	56	48	50
	(2)		日本海側の冬の気候の特色の説明	40	59	59	58	60	64	62	55
8	(1)	①	米の生産額の読み取り	70	86	85	90	87	91	89	81
		②	現在と過去の米の生産額の差の指摘	50	50	50	48	53	58	51	49
		③	米と野菜の生産額の増減の読み取り	60	63	64	61	63	67	62	58
	(2)		自然環境を生かした農業生産の理解	50	65	65	64	67	70	65	65
9	(1)		大陸の位置の指摘	60	63	63	57	70	73	74	65
	(2)		条件に該当する海洋の指摘	60	66	66	59	76	79	80	70
教科全体				60	67	67	63	67	70	67	64

(単位：%)

	中 南 管 内				上 北 管 内			下 北 管 内			三 八 管 内		県全体		
	弘前市	黒石市	平川市	中・南郡	十和田市	三沢市	上北郡	むつ市	下北郡	八戸市	三戸郡				
93	93	95	93	93	95	97	95	94	94	95	90	94	94	95	94
86	87	83	85	84	89	91	91	88	89	92	79	87	88	87	87
79	80	79	72	79	79	83	79	77	78	82	64	79	80	75	78
72	74	73	66	63	73	83	63	69	66	66	68	78	79	73	75
98	98	100	98	99	99	99	99	99	99	99	98	99	99	99	98
99	99	99	99	100	99	98	100	99	98	99	96	99	99	99	99
67	69	69	58	63	68	76	59	67	58	62	48	69	70	63	68
61	61	65	62	55	67	66	66	68	58	60	53	63	65	57	63
31	29	40	32	31	41	44	41	40	34	36	29	37	37	33	36
70	69	68	72	76	77	78	76	77	65	65	66	73	74	69	72
86	85	86	90	90	93	92	92	93	87	88	82	88	88	89	88
42	43	43	35	45	52	56	46	52	43	46	34	52	54	48	49
67	67	65	67	69	75	78	75	73	67	68	64	72	73	67	71
38	39	41	32	34	46	48	48	44	34	36	29	40	41	33	41
62	63	58	59	64	71	75	73	68	59	61	50	65	67	56	66
56	57	57	53	52	64	63	64	64	53	55	47	56	57	51	59
64	64	61	63	67	69	73	74	65	61	64	52	63	64	59	66
41	43	36	35	38	47	50	42	48	33	36	22	47	47	43	44
73	73	73	72	74	79	80	79	79	67	68	62	74	75	71	74
48	50	49	41	49	59	61	61	56	45	46	39	46	48	41	51
50	51	57	44	50	45	39	47	49	46	49	33	43	43	46	48
52	54	43	56	50	56	59	58	53	45	47	38	56	58	47	54
53	53	57	54	49	56	59	60	52	48	52	35	51	53	45	53
55	56	52	49	56	64	67	62	63	52	56	40	60	62	53	59
84	83	87	88	85	89	90	90	89	80	84	67	84	85	80	85
47	48	47	45	43	54	52	58	53	45	47	35	50	51	44	50
60	59	64	65	55	68	68	73	67	56	59	47	61	62	58	62
64	64	68	68	60	67	65	69	67	60	64	48	65	67	57	65
59	58	66	62	53	72	74	73	71	54	54	54	63	66	54	64
65	65	70	65	61	74	75	74	73	55	54	56	66	68	58	67
64	64	65	63	63	70	71	70	68	61	63	54	66	67	62	66

※通過率(%)は、「総正答数/総解答数」で算出した数値の小数第1位を四捨五入した整数値で表しています。

※②(1)①通過率100%については、黒石市は四捨五入による整数値で表したものです。

※②(1)②通過率100%については、三沢市は全員正答によるものであり、つがる市、中・南郡は四捨五入による整数値で表したものです。

## ウ 個々の問題の主な誤答例とその原因

問題番号	通過率(%)	主な誤答例(無答を含む) (かっこ内の数字は、抽出した解答全体に占める誤答の割合・%であり、調査全体の誤答の割合とは異なる)
③ (1)イ	36	神社 (29.5)、果樹園 (6.5)、無答 (6.5)、風車 (3.0)、森林 (2.5)、老人ホーム (2.0)、温泉 (2.0)
④ (2)ア	41	3-4 (26.0)、1-3 (14.5)、2-4 (6.5)、1-2 (4.5)、1-4 (1.0)、無答 (2.5)、他 (2.0)
⑤ (2)	44	等高線の間かくが狭い(短い)から (13.0)、等高線のかたむきが急だから (11.0)、無答 (9.0)、いつきさんの場所が一番高いから (3.5)、等高線がたくさんあるから (1.0)
⑥ (1)	51	無答 (14.0)、平野 (5.0)、山脈・山地 (3.5)、盆地 (1.0)、奥入瀬川 (1.0)、青森市 (1.0)、津軽平野 (1.0)、土地の高さ (1.0)
⑥ (2)	48	奥入瀬川 (37.5)、無答 (3.0)、陸奥湾 (2.5)、馬淵川 (2.0)、十和田湖 (1.0)

- ③(1)イでは、誤答の原因として、神社と記述する解答が多かったことから、地図上で縮尺を活用する力と地図記号の理解が十分でないことが考えられる。
- ④(2)アでは、誤答の原因として、資料3は選んでいるが、資料2を選択できなかった解答が多いことから、問われている内容と文章資料を関連付けることができなかったことが考えられる。
- ⑤(2)では、誤答の原因として、等高線の間かくが狭い(短い)から、等高線のかたむきが急だからと記述する解答が多いことから、等高線の間隔と傾斜の関係を適切に表現する力が十分身に付いていないと考えられる。
- ⑥(1)では、誤答の原因として、無答が多い上、平野や山脈、山地と記述している解答が多いことから、基本的な地形の名称についての理解が十分でないことが考えられる。
- ⑥(2)では、誤答の原因として、「奥入瀬川」と記述する解答が多かったことから、各種資料から複数の情報を関連付けながら読み取る力や説明する力が不足していると考えられる。

## エ 今後の指導について

### ○課題の見られた問題 ③(1)イ

### ○出題のねらい

地図を読み取り、指定された場所の地図記号を指摘する問題である。平成30年度の分析において、指定された地図記号を指摘する問題の通過率は設定通過率を超えていたが、縮尺活用についての出題がなかったことから、到達度を測るために、縮尺の地図上での距離と地図記号を指摘する問題とした。

### ○分析結果と課題

分析の結果、地図上での縮尺活用の技能の習得が十分でない解答が見られた。また、果樹園(○)と広葉樹(Q)などの類似している地図記号の理解が不十分であった。課題として、地図上で縮尺を使って距離を測ったり、地図帳で地図記号を確認したりするなどの経験が不足していることが考えられる。

### ○学習指導に当たって

今後の指導に当たっては、問題解決的な学習を通して、地図記号の見方の定着を図りながら実際の距離を求めるなど、地図を活用する技能を身に付けさせる学習を進めていく必要がある。

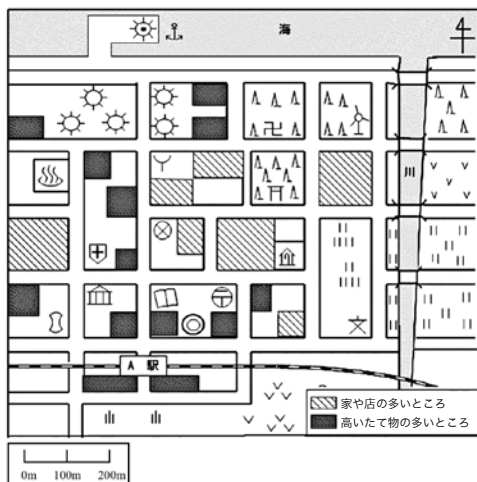
## 指導例

地図上の地図記号、実際の距離を表す地図のものさしを読み取る技能の定着を図る指導事例  
～单元名「市の様子(第3学年)」～

### 【指導の流れ】

#### 1 A市の写真や地図をながめて、土地の使われ方を読み取らせる。

**学習活動** A市の写真や地図から土地の使われ方や様子を読み取る。



私たちの住んでいるA市の土地の使われ方は、どのようになっているでしょう。



私たちのA市は、海に面しているね。



駅の周りは、図書館や博物館などいろいろなたて物があるよ。



同じ市の中なのに土地の使われ方が違うね。市の様子を調べて紹介しあいたいな。



カナダから来たばかりのALTのジェインさんにも、私たちのA市のことを教えてあげようよ。

私たちのA市には、どのような場所があり、それぞれどのような様子なのでしょう。



海の近くから調べていきましょう。



海沿いには、工場が集まっているよ。森林もあるね。



海につき出した所にも工場があるよ。

それは、工場でなく、灯台だよ。工場は、歯車の形を表していると聞いたことがあるわ。



よく知っていますね。灯台の地図記号は、光っている灯台を上から見た様子を表したものだそうですよ。

広葉樹は、葉っぱの大きい木のことらしいよ。木の種類によって記号が違うんだね。



地図の中には、田 (田) や、荒地 (山) を表す地図記号など似たようなものがあるので、分からない記号が出てきたら、地図帳で調べて確認しましょう。

### ポイント

地図で調べるときには、主な地図記号を扱うようにする。また、形が類似した地図記号は、地図帳を参照して理解させ、活用できるようにさせる。

## 2 実際の距離を表す地図のものさしを基に距離を調べさせる。

### 学習活動

実際の距離を表す地図のものさしを基に、2地点間の距離を測る。

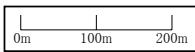


海ぞいの様子を見学したいけれど、学校から歩いて行けるのかな？

どうやって行けばいいんだろう？



海ぞいに行くには、学校を出て北に向かうといわ。



距離が分からないけれど、地図にこのような「ものさし」みたいなものがあるよ。手がかりになりそうだね。



それは、地図上の2つの地点の距離を測るときに使う地図の「ものさし」です。地図上の1cmが何mを表しているか分かります。この場合は、1cmは100mにあたります。



学校から風力発電の風車までは、地図では5cmあるから、地図の「ものさし」を使うと…。

1cmは100mだから、5cmは500mだね。



地図上で実際の距離も調べられるんだね。これから、地図でいろいろな町を調べるときに、どれくらいの距離があるのか、分かるんだね。

### ポイント

地図上の2つの地点の距離を調べる必要感をもたせる。教科書（地図帳）を基に地図上の距離と実際の距離の関係を押さえ、コンパスや定規を使用して長さを測り、地図の「ものさし」を活用して実際の距離の求め方を身に付けさせる。

## 3 学びの振り返りをノートにまとめる。

○課題の見られた問題 6(2)

○出題のねらい

示された条件に該当する河川や市の名称を、2つの資料を組み合わせ読み取り、指摘する問題である。平成30年度の分析において、複数の資料を組み合わせ活用する技能に課題が見られたため、2つの資料から必要となる情報を適切に読み取り、示された条件に合うものを指摘する問題とした。

○分析結果と課題

分析の結果、問題解決につながる必要な情報を複数の資料から適切に選んで読み取ることができなかった児童が多く見られた。

課題として、資料から読み取った複数の情報を比較したり関連付けたりして、事象と事象のつながりや関わりなどを捉える力が不足していることが考えられる。

○学習指導に当たって

今後の指導に当たっては、2つ以上の情報を比較したり関連付けたりながら読み取らせ、読み取ったことを根拠や理由を明確にして説明する活動を行うことが大切である。

指導例

各種の資料から複数の情報を関連付けて読み取り、説明する力を養う指導  
～単元名「わたしたちの県」(第4学年)～

【指導の流れ】

1 2つの資料から得た複数の情報を関連付けて読み取り、県の地形の特色をつかませる。

**学習活動** 県の地形の特色を、土地の高低や海洋などとの関係から読み取り説明する。

青森県では、どのような地形が見られるのでしょうか。

県には、十三湖と十和田湖、小川原湖の3つの大きな湖があります。



それぞれの湖は、どんな場所に位置していますか。

青森市から見て小川原湖は東の方角に、十和田湖は南の方角に、十三湖は北西の方角に位置しています。

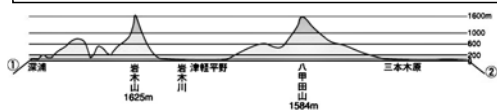


十三湖と小川原湖の2つは海岸沿いの低い土地に、十和田湖は高い土地に位置しています。



青森県にある主な川の流れを、湖の位置や土地の高低と関連付けて説明しましょう。

奥入瀬川は高い土地にある十和田湖から県の東側にある平地に向かって流れて、太平洋に注いでいることが分かります。



**ポイント**

・川や湖、海洋などが関わる地形の特色については、土地の高低と関連付けながら、地形や方位に関わる用語を用いて話し合わせたり、説明させたりする。

## 2 複数の資料から得た情報を関連付けて読み取り、県の交通の特色の概要をつかませる。

**学習活動①** 県の主な交通網の広がりや、人口との関係から読み取り説明する。

青森県の交通網は、どのように広がっているのでしょうか。



白地図に書きこんだ県内の主な鉄道は、どんなところを通っていて、どのようなつながりがあると言えますでしょうか。

青森市、五所川原市、弘前市、むつ市、三沢市、八戸市などの市を結んでいるよ。



市などの人口の多い場所を結んでいると言えますよね。人口が多いと、人や物の行き来が多いからね。



弘前市と八戸市が直接つながっていないのはどうしてかな。どちらも県内では人口の多い市だから、行き来も多いはずなのに不思議だね。

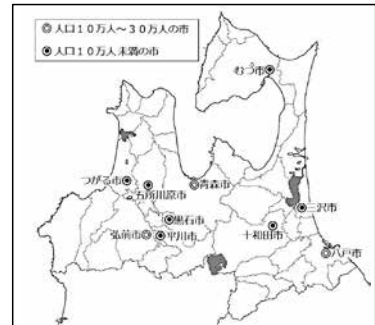


青森市と三沢市を結ぶ鉄道は、遠回りしてわざと海沿いを通っているように見えるよ。



県の中央部は、何か鉄道を通しづらい理由があるようですね。みんなが疑問に思っていることを確かめるには、どんな資料が必要ですか。

県の地形を調べる時に使った、地勢図と比べれば確かめられそうです。



**学習活動②** 県の主な交通網の広がりや、地形との関係から読み取り説明する。

地勢図と比べて見ると、弘前市と八戸市を鉄道で直接結ぶには、八甲田山を通らなくてはいけないことが分かります。



青森市と三沢市を、遠回りせずにまっすぐに結ぶことができないのは、八甲田山とそのまわりが高い土地になっているからだよ。



八甲田山には、鉄道は通っていないけれど、国道がたくさん通っているし、自動車道もあります。



話し合って分かったことをまとめると、どんなことが言えそうですか。

県内の鉄道や国道は、人口の多い場所の人や物の行き来をやすくするために整備されていると思います。



山など鉄道を通しにくい場所は、国道や自動車道が、人や物の行き来を補っていると思います。



他の都道府県への交通の広がりも、調べてみましょう。

### ポイント

・鉄道や道路などの主な交通網と地勢図などの異なる情報を関連付けて、事象の原因について話し合ったり、分かったことをまとめて説明させたりする。